

## 第2回グループワークを振り返って

### WSの感想

- 討議をする時間が非常に短かったので、残念でした。班によって考え方の違いが判明した。
- 多様な意見交換の素晴らしさを感じました。
- たくさんの夢を感じました。
- 岡田先生のファシリテーションスキルに安心して意見が出せました。ゼミ生の方も熱心に拾って下さり、感謝。
- とても充実した時間でした。
- とてもいい話し合いができて良かった。
- 質疑応答の時間がムダな感じ。
- グループでの意見交換の時間が長いほうが良い。
- 背景にその道の専門の研究室があることで安心して夢ある話が出てきた。

- 大学等の方との意見交換は知識として得られてありがたい。
- 残すべきものが限られてきて、それは大事かもしれないが新鮮味に欠ける。目新しいものとして何かがあれば話題性は高い。
- 今回初めて小学生が公式試合で使える野球場にしたいという意見が出ました。あえて何も残さず保護者で管理するというのを押しつけていました。前回までは否定もなく楽しい会話でした。
- OWSでやるより行政主導でやっていただければと思いました。
- 質疑応答の時間が有効に機能していないのでは？(的外れな質問が少なくない…)
- 防災について重点的に考えたが、もう少しクリエイティブに考えたほうが良かったかも。
- 意見の交換が多く楽しい時間でした。

### 今後のWSに期待していること

- OWSの時間は2時間ではなく、3時間程度あったら良いのでは？
- 高齢化が進んでいる土地柄、経済的にも苦しさがある。やはり、若い層を中心に作成していく方向性が大切であろう。年間を通して楽しめるもののほうが利用価値は高い。子供中心に考えれば「水遊び」が大好きで、何回でも行きたくなるような気がする。小川、水辺はどうか。
- 概要についてはある程度理解できましたが、絞り込んで良い提案が出るよう、お願いします。
- 八千代市側の方も皆の夢のある意見を否定せずに、「いいな～八千代台東」と若い人たちに言われるようにしたい、と言ってくれたので希望が持てた。
- 実現可能なことを探す。
- 子供達、お年寄りに良いようになるといいなと思います。

- 前回、自由にアイデア出しをしたが、一つの方向性へ集約して、実現につなげたい。
- 現実的な道筋の展開を期待します。東二小をおもちゃにして楽しむのではなく、本当に住民や子供たちの利用できるものを作りたいと思います。
- どんなものが可能なのか、これから具体的に話し合って完成の形にしていきたい。
- 東町会が夢のある地域となる一助となること。
- 様々な方の多様な発想を知ること。
- 四季を通じて人の集まれる多目的広場になること。
- 跡地がどんな場所になっていくか楽しみ。自由に発言できる雰囲気は良いが、声の強い人がいると萎縮してしまう。
- 市がまるなげではなく少しでもいいから市の補助金があるといいなと思います。

### WSで発言できなかったこと、補足説明したいこと

- 何をやるかはわからないが、作れるものによって様々な条件や制約があると思う。例えば…公共施設、広場、公園と名称の違いから、法的な影響を受けることではないのか。ここにこそ…！という名物や自慢するものが欲しい。(誰でも日本一ということが好きな傾向がある)
- 体育館だけ耐震工事を残すといくらかかるのか？何か新しい建物を作るのとどちらが安いのか？雨、風をしのげる何かがあったほうが良いと思う。
- 公式戦のできる野球場にしてください。八千代市民球場に次ぐような球場にすれば、外部からも人が来るので。メンテナンスは、東南クラブでできると思います。
- 空の空間に規制がかかっていないので、凧やドローンが飛ばせます。

- プリン山を中心として、遊具を集中させて校外学習等でも使える施設にしてみてもどうか。(例)プリン山、タイヤ、鉄棒、登り棒等
- 斜面樹林は子供達が一番好きな場所でした。植物観察等も含めて、有効活用していただきたいと思います。
- 実のなる樹木が沢山あります。柿、みかん、梅、ゆず等を残し、朝市等に出品してみてもどうでしょうか。
- 健康づくりゾーンの設置。お年寄りの健康づくりとの関連より。
- ドローンを飛ばせる場所。
- 色んな人が交流できる場が欲しいです。特に子供と遊べる場は多いため、風には老人の方がパターゴルフ、夕方にはサッカー・野球ポール等が使える広場等です。

### ◆次回以降の主な流れ

<p>【第1回】 6月18日(土)15時～ 【場所】八千代台東町会館 ◎プロジェクトの「前提条件」を共有 ◎コミュニケーションを図るための簡単な意見交換</p>	<p>【第2回】 7月14日(土)14時～ 【場所】八千代台東町会館 ◎グループ相互での意見交換を通して共通事項を導く</p>	<p>【第3回】 9月8日(土)13時～ 【場所】八千代台東町会館 ◎施設プランの検討 ◎ゾーニングプラン</p>	<p>【第4回】 ◎ゾーニングプランの確認 ◎基本方針の策定 ◎第5回目のイベント検討</p>	<p>【第5回】 ◎地元の連帯感を高めるためのイベント実施 ◎基本方針の実現可能性調査</p>
--	---	---	---	---

### ◇お問い合わせ先◇

八千代市 総務企画部 総合企画課  
電話：047-483-1151  
E-Mail：seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp  
発行者：日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室  
発行日：平成30年8月18日(土)

制作：日本大学理工学部岡田研究室/協力：八千代まちづくりマネージャー



**第2回WSプログラム**  
平成30年7月14日(土)14:00~16:00  
【場所】八千代台東町会館

- 1. 開会**  
◇はじめの挨拶  
◇八千代台東第二小学校利活用についての前提条件
- 2. 前回の振り返り**  
◇事例紹介  
◇話し合いの留意点  
◇WSの進め方  
◇質疑応答
- 3. WS開催(グループワーク)**  
◇残すべきものの抽出(東二小レガシー)  
◇導入すべき機能の抽出(平時、災害時のそれぞれ)  
◇討議内容報告  
◇コンセプトづくり
- 4. 閉会**  
◇次回予告  
◇振り返りシートの記入

八千代台東第二小学校利活用プロジェクトによる「第2回八千代台東第二小学校利活用ワークショップ(以下:WS)」が、平成30年7月14日(土)に開催されました。

第2回八千代台東第二小学校利活用WSでは、八千代台東第二小学校(以下:東二小)の利活用にあたっての前提条件の説明や、質疑応答を行いました。また、日大の岡田教授による事例紹介や、WSの進め方について説明していただきました。その後、グループワークでは、3班に分かれ東二小で残すべきものや導入すべき機能について意見交換を行い、今後のコンセプトづくりを行いました。

本プロジェクトでは、東二小の有効的な利活用を行うことにより、地域の活性化を目指しています。皆さんも東二小の利活用について一緒に考えてみませんか？

【次回開催日程】  
平成30年9月8日(土)13時～  
場所：八千代台東町会館

### 八千代台東第二小学校利活用プロジェクトの趣旨

◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台まちづくりプロジェクト」を展開しました。そして、その延長として、平成26年度末をもって学校施設としての役割を終えた東二小の利活用策を検討するに当たって、「八千代台東第二小学校利活用プロジェクト」を発足しました。



## 第2回ワークショップ開催!!

東二小利活用の前提条件の説明をはじめ、第1回WSの振り返りや、事例紹介、プロジェクト内容における質疑応答を行いました。その後、グループワークでは3班に分かれ、第1回WSで出た意見を踏まえて、再度、①残すべきもの（東二小レガシー）、②導入すべき機能（平時、災害時のそれぞれ）の抽出および意見整理を行い、東二小利活用方策を検討するうえでのコンセプトづくりを行いました。

### 質疑応答（Q：参加者からの質問内容、A：市役所からの回答内容）

Q:敷地内の運営管理は誰がやるのか。

A:もし敷地内にハコモノを作る場合、市の方での運営管理は考えていない。市が管理する場合はコストをかけられないため更地になる。

Q:運営管理に対して市からの補助金はあるのか。

A:市からの補助金は、今のところ考えていない。

Q:施設の整備費用は出るのか。

A:整備するものが、地域に良い影響を与えることを市の中でしっかりと説明をして、整備費を獲得していきたい。

Q:敷地の固定資産税はどうなるのか。

A:市有地なので課税されない。しかし、光熱水費などのランニングコストは、何らかの収入で賄い、利益が出た場合は地域の活性化のために使ってもらいたい。

Q:国からの補助金はうまく使えないのか。

A:校舎等を解体するのに1年はかかるため、平成32年度の整備補助金になる。整備の内容確定後、該当する補助金があれば国に申請したい。

Q:単一目的には否定的だったが、多目的の失敗例はないのか。（岡田教授に対して）

A:別に単一目的を否定している訳ではない。学校跡地としての使い方が限定的な利用でよいのかという問題提起である。そのため、単一目的でも地域住民の同意が得られれば問題ない。多目的利用の失敗例を挙げるとすれば、どこの事例を特定するわけではなく、例えば、長方形の運動場の中で扇形状の守備配置を要する野球をやるとなると機能的に破綻が生じやすいといえるのではないかと。（岡田教授回答）

Q:施設の運営をすると、具体的にどのくらいのコストがかかるのか。

A:具体的な方向性が見えてから事例調査をしていきたい。

Q:年寄りが多い地域であるため、リハビリテーション施設を作れないか。

A:近隣公園に小体育館があるため、新たに作らなくても対応できるのではないかと。（参加者からの意見）

Q:広場にして地域に任せるとなると、光熱水費は地域が負担することになるのか。

A:広場利用者からの徴収などにより、地域で負担する形になる。

Q:災害時の避難場所として利用するのであれば、費用はどうなるのか。

A:学校があったので避難所に指定されていた。一時避難場所として災害用井戸を残すとすると費用負担は、防災部門と協議していく必要がある。

Q:敷地を民間に無償で貸す場合は、学校建設時の補助金は返還するのか。

A:無償であれば返還する必要はない。

Q:敷地全てを有償で貸すのは国への学校建設時の補助金の返還が必要と思うが、敷地の一部の場合はどうか。

A:返還の可能性が高いため、有償貸与はしない。市が地域に無償で貸し、地域が管理費捻出のために有償で運用するのは返還にならないと考えている。

Q:校庭内に埋設されている芦太川の地中構造はどのようになっているのか。

A:U字形の構造物の上にコンクリートの板がかぶせられ、その上に土がのっている状態。

Q:雨水管を整備しないと雨量によっては敷地が浸水しないのか。

A:学校の敷地は浸水が想定される区域でないため、その心配はないと思うが、水はけはよくない場所である。

## グループ討議の意見一覧

**A班** コンセプト：「普段は子どもから高齢者まで楽しめる場所、災害時は避難場所として利用できる場所」

東二小の残すべきもの			東二小の導入すべき機能		
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災倉庫</li> <li>災害用井戸</li> <li>給水ポンプ</li> <li>マンホール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念樹</li> <li>斜面樹林</li> <li>二本の楠</li> <li>玄関前の庭園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時計</li> <li>遊具</li> <li>プリン山</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災施設</li> <li>災害用トイレ</li> <li>ドッグラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸農園</li> <li>ピオトーブ</li> <li>ウォーキングスペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的スペース</li> <li>コインパーキング</li> </ul>

**B班** コンセプト：「そなえながらも、毎日便利な三世代交流拠点」

東二小の残すべきもの			東二小の導入すべき機能		
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災倉庫</li> <li>災害用井戸</li> <li>校舎の一部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面樹林</li> <li>玄関前の庭園</li> <li>野鳥観察園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クジラプール</li> <li>何も残さない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かまどベンチ</li> <li>災害用トイレ</li> <li>コンテナ</li> <li>ドッグラン</li> <li>井戸の増設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業体験</li> <li>野球場</li> <li>発電機</li> <li>管理事務所</li> <li>高齢者リハビリステーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が遊べる公園</li> <li>バーベキュー場</li> <li>コインパーキング</li> <li>トレーラーハウス</li> <li>屋根付きの休憩所</li> </ul>

**C班** コンセプト：「校舎を開放して学びの場へ」

東二小の残すべきもの			東二小の導入すべき機能		
<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎の壁</li> <li>校舎の一部</li> <li>体育館の記念品を写真保存</li> <li>時計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念樹</li> <li>斜面樹林</li> <li>遊具</li> <li>プリン山</li> <li>クジラプール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小川</li> <li>川床</li> <li>温泉</li> <li>神社</li> <li>釣り堀</li> <li>集会場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害用トイレ</li> <li>多目的スペース</li> <li>キャンプ場</li> <li>バーベキュー場</li> <li>ドローンや</li> <li>風揚げの場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シイタケやミョウガの植生</li> <li>薬草やハーブの植生</li> <li>ヒマワリなどの草花の植生</li> <li>キャンピングカー専用駐車場</li> <li>プロジェクトマップ</li> </ul>	

## ワークショップの様子



東二小利活用にあたり前提条件の説明

八千代市による、東二小利活用検討の前提条件の説明および質疑応答



事例紹介やWSの進め方の説明

岡田教授による、事例紹介やWSの進め方についての説明



WSの開催状況

住民のみなさんで再度、残したいものや導入したい機能について討議し、各班で出た意見をもとにコンセプトを作成